

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス ONE		2025年 1月 8日			
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・スペースを効率よく使用できるようにしております。 ・療育器具（プランコ等）は取り外しができるようにするなどの工夫をしています。	・スペースに関しては1人に対しての適切なスペースは確保していますが、子供たちがより快適に利用していただくために今後も工夫していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。	・今後も職員の配置につきましては、必要に応じて配置をしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・子どもたちの状況に応じたバリアフリーは行っています。その都度必要に応じて工夫し、改善を行っています。	・今後も子ども達の状況に応じて、環境を整えていきます。 ・どの様に過ごしているのかわかりやすいように写真などを活用していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・快適に過ごしていただく為に、子ども達が帰った後に消毒液の散布と清掃を毎日行っています。	・今後も快適に過ごしていただけるように、清潔な空間を保つていきます。 ・室内のレイアウトを変えるなどして、整理整頓を行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・必要に応じて、他児と離れて過ごす事が出来るように別のフロアを用意しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	・会議を毎日持ち、療育内容や指導の在り方を共有・検討しています。	・今後も会議の場以外でも、その都度必要に応じて職員間で振り返りを行い、業務の改善を行います。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員間で共有・検討する機会を設けています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・定期的に業務についての会議の場を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・第三者の方に依頼をし、業務体制を確認して頂いております。	・定期的に第三者の方に見ていただき、業務改善を実施していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・事業所内外での研修に積極的に参加しています。	・今後も積極的に研修に参加出来るように、情報の共有を行っていきます。
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	4	・毎月、会議の場にて療育内容の立案・作成をしています。	・今後も会議の場を設け、子供たちが楽しく過ごせるようプログラムを作成していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・保護者の方やご本人から聞き取りを行い、それを元に作成をしています。	・今後も全職員で確認を行い、計画書に沿った支援を実施していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・子どもの状況に応じた個別・集団での活動を項目に入れて作成しております。	・今後も子ども達の状況に応じて活動の組み合わせを取り入れていきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	・児童発達支援管理者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。	・今後も職員間で確認を徹底し、支援計画に沿った適切な支援を行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・子どもの状況に応じてアセスメントを行い、会議の場にて共有を行うようにしています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・児童発達支援管理者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。	・今後も原案作成後、職員間で会議を行い、適切な支援内容を作っていきます。

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・毎月、全職員にて療育内容の立案・作成をしています。	・今後も会議の場を設け、子供たちが楽しく過ごせるようプログラムを作成していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・活動プログラムが同じにならないように、変化をつけて行っております。	・季節感を感じられるように、活動内容に変化・工夫を行っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日、会議で療育内容の確認・職員の仕事分担を行っております。	・今後も会議の場を設けていき、確認を徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・職員間で情報の共有し、課題があれば話し合いを行い、解決を図っております。	・今後も職員間で共有をしっかりと行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	・毎日、支援の記録をひとり一人行い、支援の改善が必要な場合は会議の場を設けています。	・今後も必要に応じて、実施していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っております。	・今後も定期的に見直しを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	3		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・必要に応じて児童発達支援管理責任者・管理者・担当職員がサービス担当者会議に参加しています。	・今後も必要に応じて会議に参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	・主に児童発達支援管理責任者・代表・管理者で行っております。	・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	・卒業生になる子がいませんでしたが、連携は行っております。	・卒業後の進路の選択肢が増えるよう、関係各所に赴き多くの連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・連絡帳とLINE・送迎時の会話でお伝えしております。	・LINEや電話・連絡帳などで行っていたものをより繊細に行い、相互理解を今後も高めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	・今年度は実施出来ませんでした。	・ペアレントトレーニングには、今後力を入れていきたいと感じています。また、事業所内外で研修会を多く開き、保護者様の支援に繋がるようにしていきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・相談を受けた際には、児童発達支援管理者が中心となり、職員間で話し合い、対応しております。	・今後も継続的に強化してまいります。いつでもどんなときでも気軽に相談しやすい環境・関係を築いてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7	・今年度は実施出来ませんでした。	・今後も定期的に保護者会等を開催し、情報の共有や保護者様同士の連携を支援してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	2	・苦情などがありましたら、職員全員で解決案を出し、対応しております。	・今後もより一層多くのケースを想定した会議を行い、苦情の対象にならぬよう体制を整えるとともに、苦情の解決方法などより良い形を模索します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。 ・会社HPに毎月2回ブログを掲載しております。	・今後も皆様に分かりやすい予定表を作成してきます。 ・今後も子ども達の様子分かるようにブログの掲載をしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報には細心の注意を払い情報漏洩なきようにしております。	・今後も個人情報につきまして、研修等を行い、情報漏洩がないように徹底してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	・LINE・電話・紙ベースなどで伝達し、状況に応じて理解しやすい形で情報をお伝えしております。	・今後も各ご家庭の状況に応じた形で、情報をお伝えしていきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・地域の催しの際に、会社全体でスタンプラリーや屋台の出店を行いました。また、全体で歌の練習を行い、ステージで発表を行いました。	・今後も会社全体として催しを企画し、地域の方との交流を持つ機会を作っていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルは作成し、施設内に保管しており、職員間で周知徹底しております。	・保護者の方にも周知して頂けるように、定期的に各マニュアルをHP上に公開してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的に避難訓練を実施しております。 ・避難訓練などを行う際には、職員が避難場所の確認・避難時の役割分担などを考えて対応出来るようにしております。	・今後も定期的に災害を想定した避難訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・食物アレルギーに関しては、会議とおやつケースに記載し全職員が見える状況にして、誤って事故が起きないようにしております。	・今後も職員間で情報の共有を行い、アレルギーに対しての問題にも怠ることなく対応してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	・ヒヤリハットなど、毎日の会議で話し合いを行い、全職員で共有します。	・ヒヤリハットに関しては今後も多くの事例を例題にして全職員から意見を求め支援の方法や対応の方向性の一致を図ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待に関しては、会議の際に検討を行い、職員の研修を行っております。	・社内研修の他に外部研修への参加をしていき、職員間での共有をしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	・拘束を行うケースがありませんでしたが、必ず説明と了解を受けてからの実施を致します。	・身体拘束は行っていませんが、活動について子どもの安全確保のための行動制限に関しては事前に子どもや保護者様に説明し了承を得ていきます。	